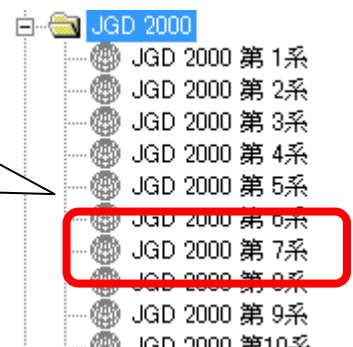
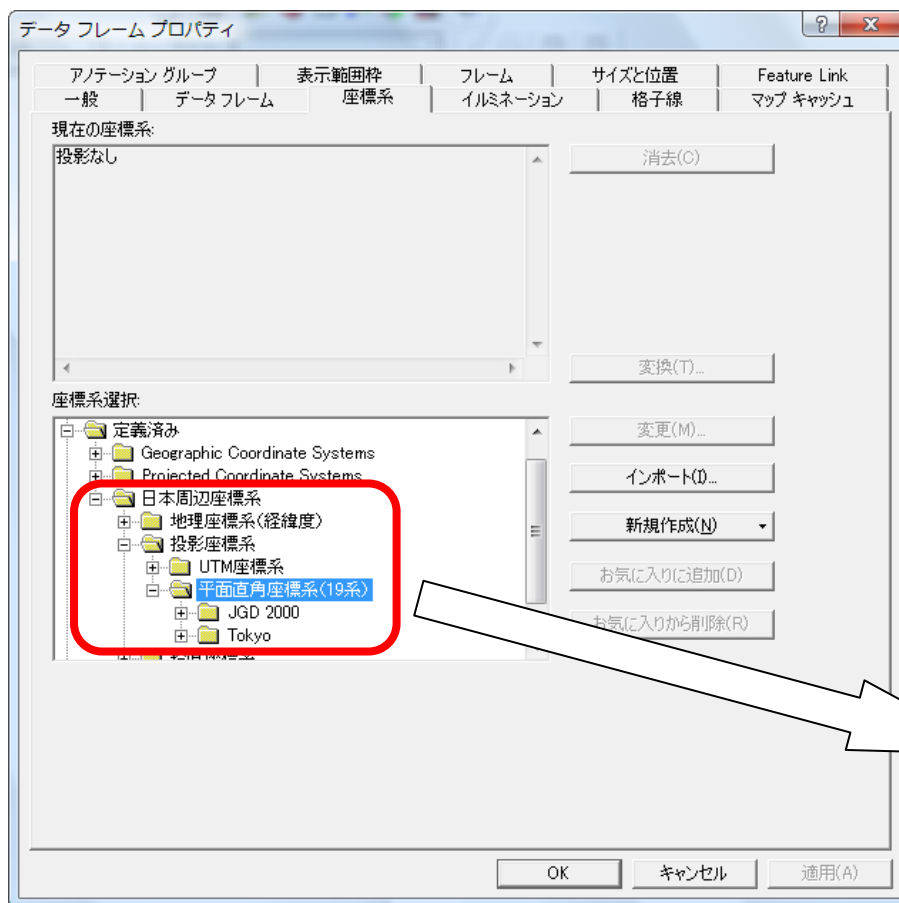
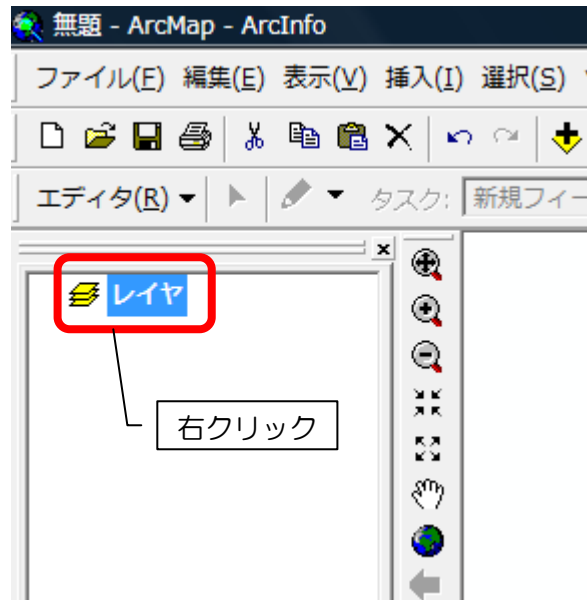


ベクトルデータの作図基本操作 ～点データ (0,0) の作図～




- ① デスクトップに ArcCatalog や Explore など で 適 当 な フォルダ (例 「作図練習」 など) を 作 成 し て お きます。ArcMap を 起 動 し、「レイヤ」を 右 クリッ ク し て「座 標 系」を (例 え ば、平 面 直 角 座 標 系 第 7 系 で) 作 成 し ます。




- ② 原点(0,0)を作成します。この点の作成にはいくつか方法がありますので、マスターしておくと便利です。場合に応じて使える代表的な3パターンを以下に紹介します。

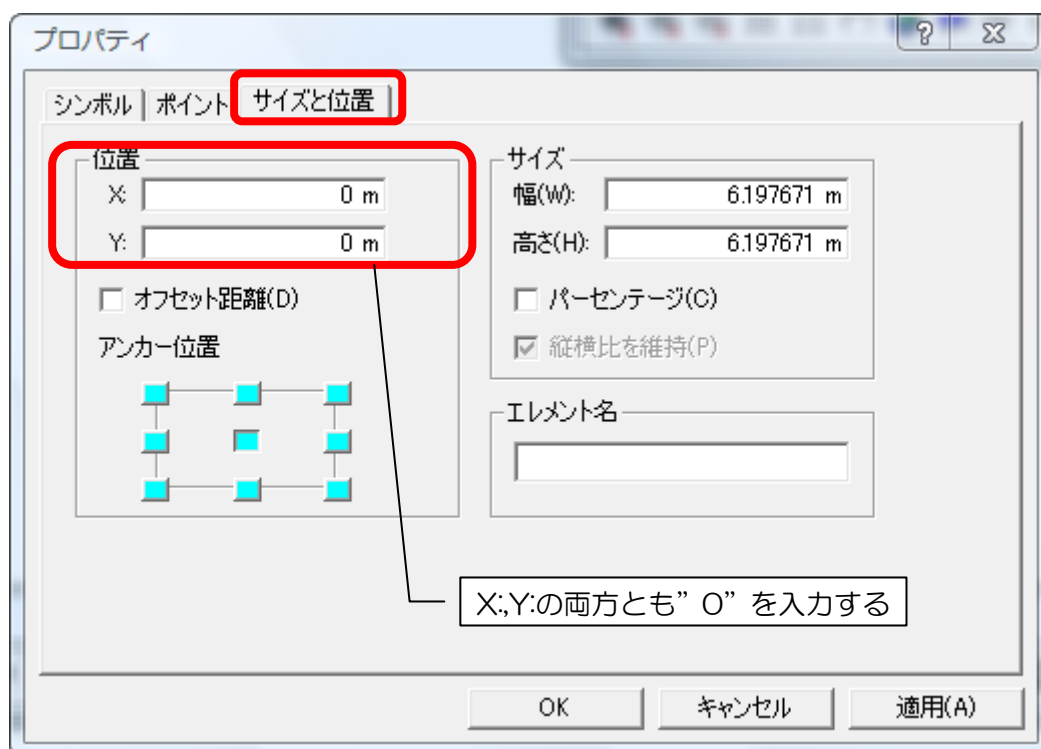
【方法1】「図形描画」ツールバーの「新規マーカー」を使う方法


ArcMap にレイヤが一つも無い場合に有効な方法です。←重要！

下図の  をクリックすると、マウスが  に変化するので、ArcMap 上の適当なところで左ボタンをクリックして点  を作成する。




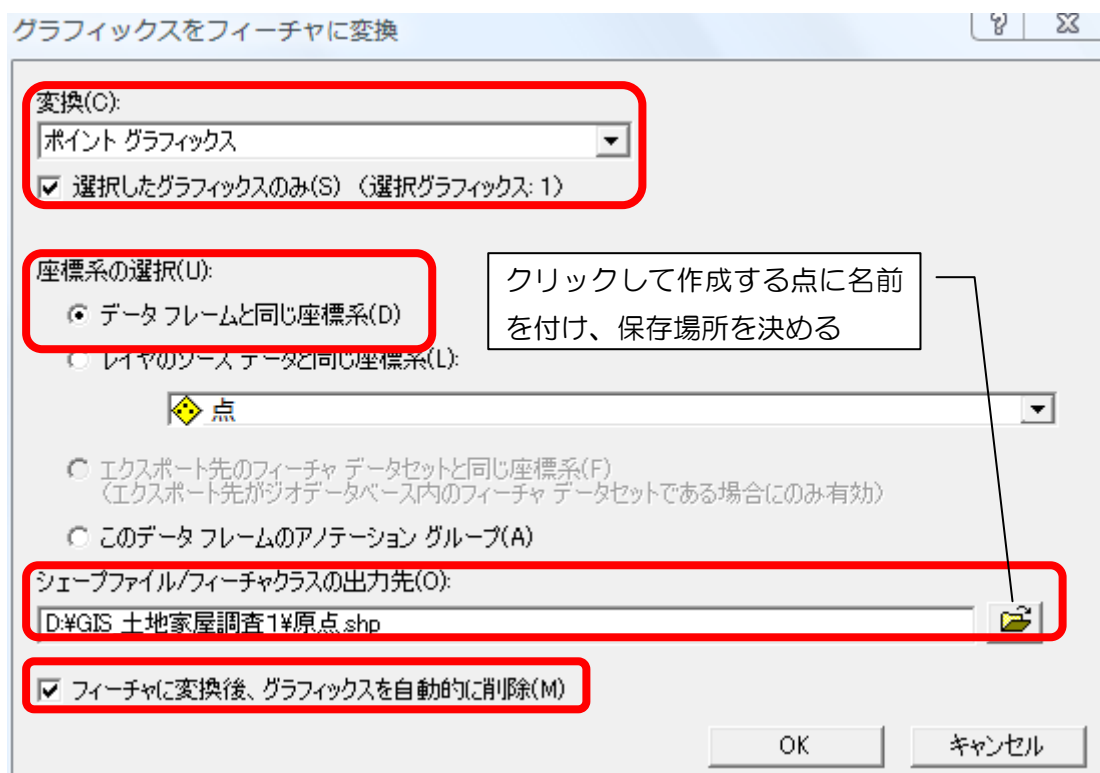
再度、これを右クリックしローカルメニューの「プロパティ」から「サイズと位置」の「位置」X:とY:欄を両方とも「0」にセットし、OK をクリックする。この時点で、 はまだ「絵(グラフィックス)」の状態なので、ベクトルデータの点(ポイント)になっていない。



 が点(0,0)に移動するので、下図の「図形の調整(D)」から「グラフィックスをフィードに変換」をクリックする。




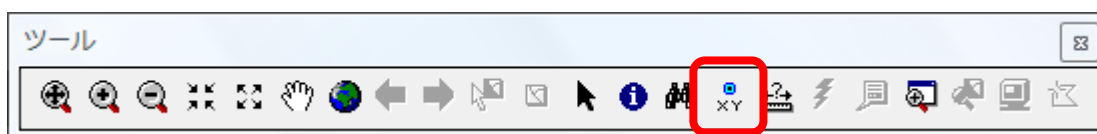
下図の囲み部分を確認して、OK をクリックする。この操作を行って、が「絵(グラフィックス)」からベクトルデータの点(ポイント)に変換された。



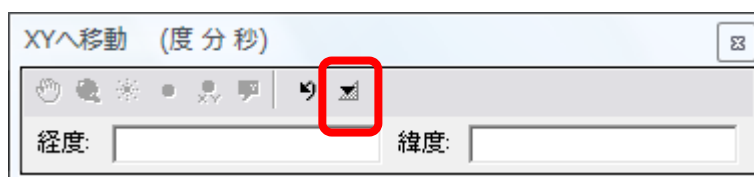
【方法2】「ツール」ツールバーの「XY へ移動」を使う方法

ArcMap にレイヤが一つも無い場合でもレイヤがある場合でも有効な方法です。

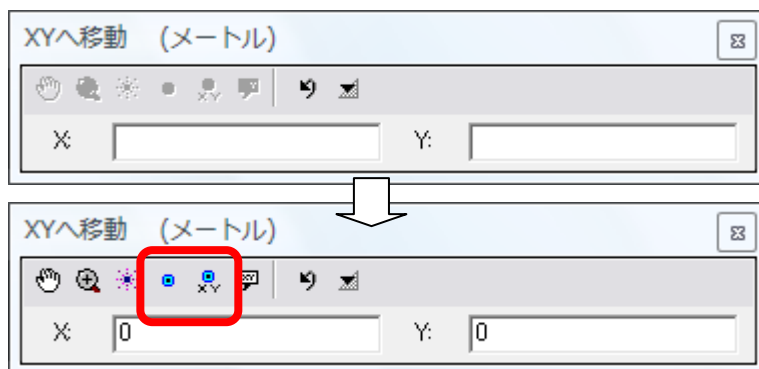
下図の  をクリックすると、XY へ移動（度 分 秒）ダイアログが現れる。




現在の座標系にかかわらず、「経度、緯度」の入力画面になっているので、下図の▼印をクリックし、平面直角座標系の「メートル」単位に変更すると経度→X、緯度→Yになる。




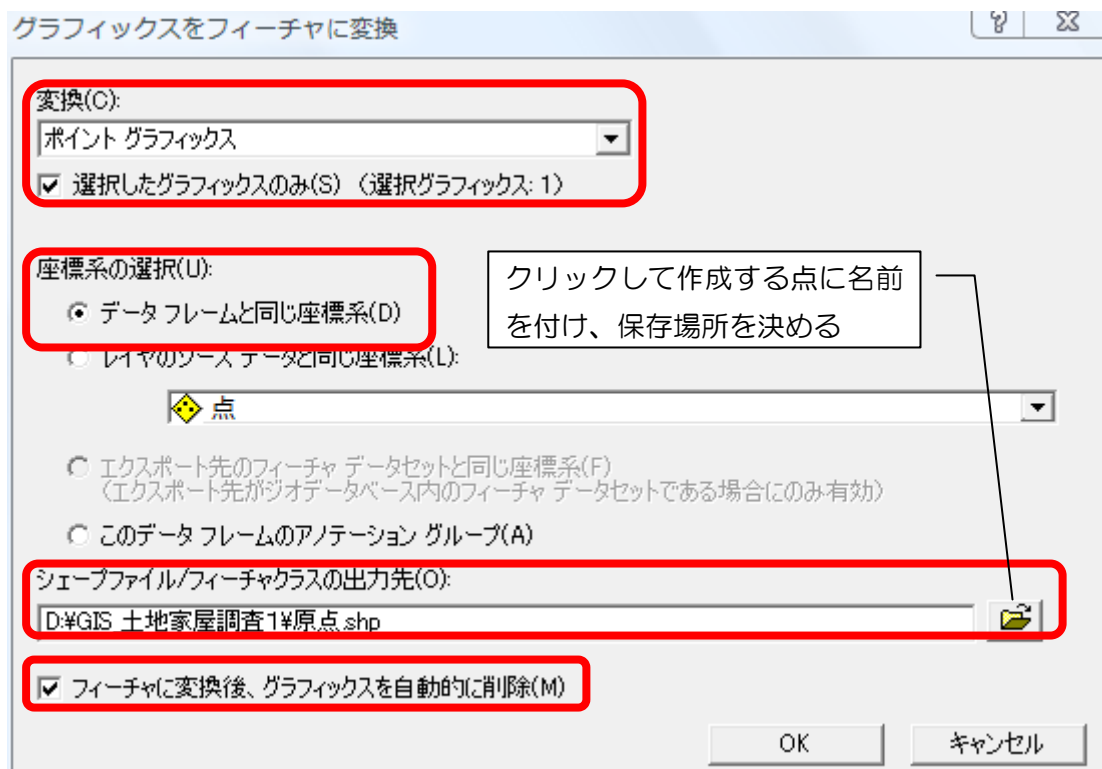
XとYにそれぞれ”0”を入力したら「ポイントを追加」ボタンが有効になるので、これをクリックすると ArcMap に点が描かれる。



しかし、この時点で、はまだ「絵(グラフィックス)」の状態なので、ベクトルデータの点(ポイント)になっていない。下図の「図形の調整(D)」から「グラフィックスをフィーチャに変換」をクリックする。



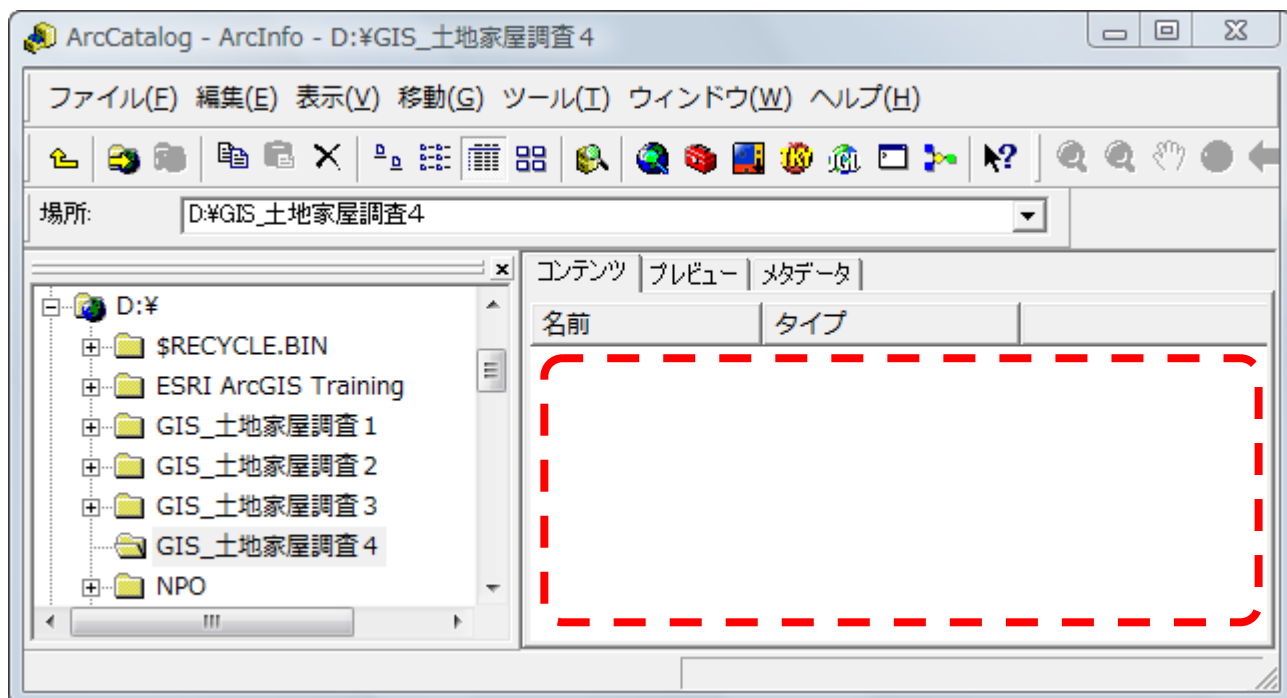
下図の囲み部分を確認して、OK をクリックする。この操作を行って、が「絵(グラフィックス)」からベクトルデータの点(ポイント)に変換された。



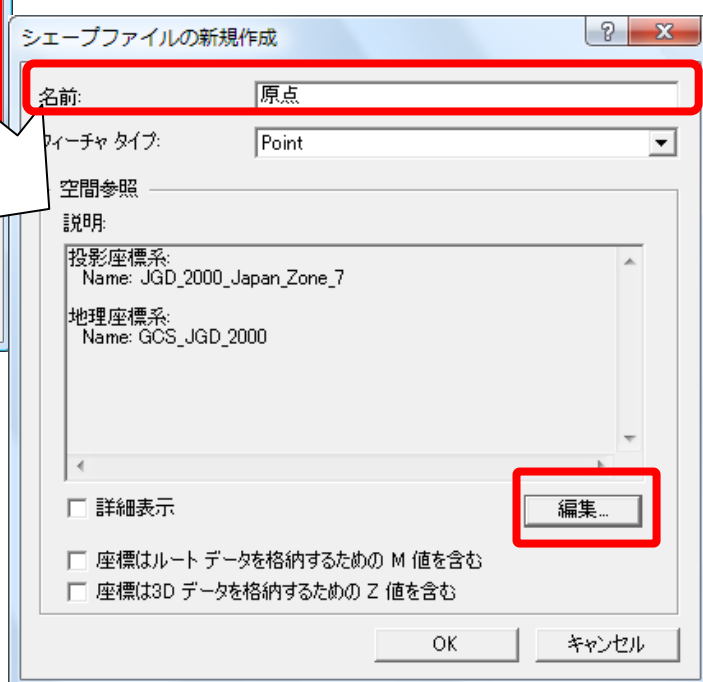
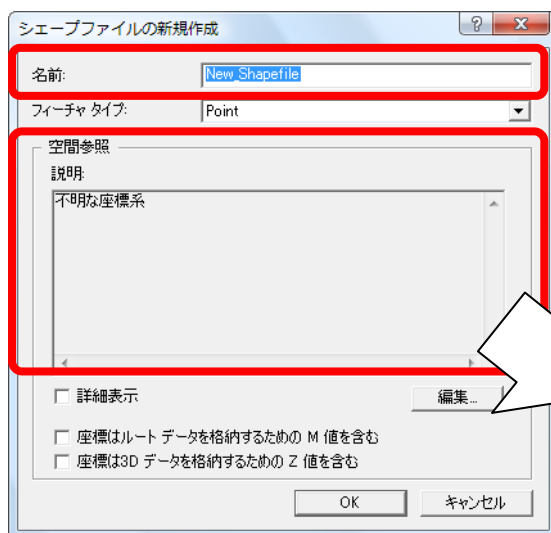
【方法3】ArcCatalog でレイヤを作成し「エディタ」ツールバーを使う方法

先にレイヤを作成しておいて、それを ArcMap に追加してから作図する方法です。

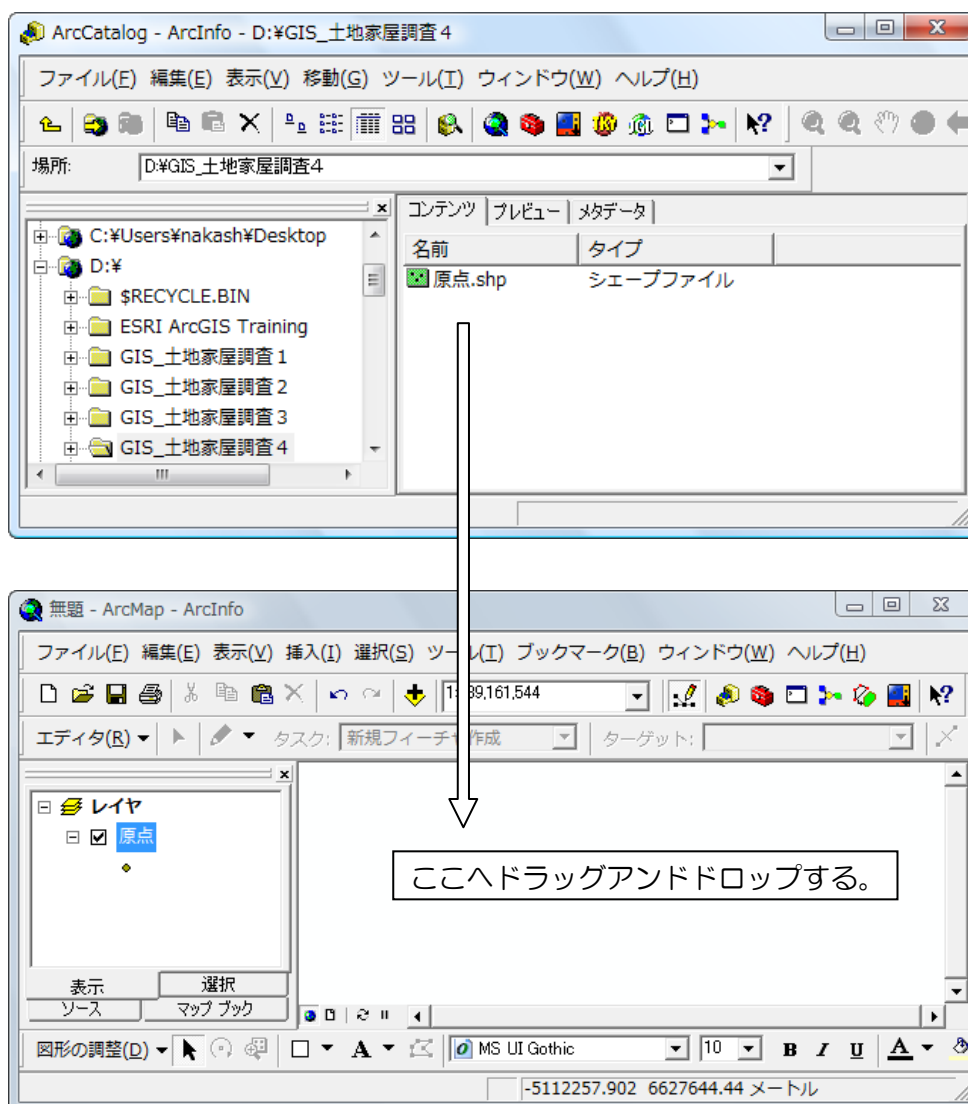
下図の点線の範囲でマウスを右クリックし、「新規作成」－「シェープファイル」



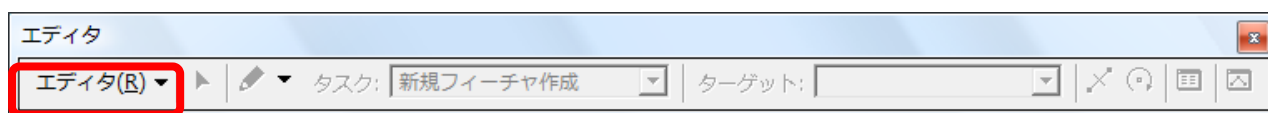
「名前」と「空間参照」を入力し、「OK」をクリックする。



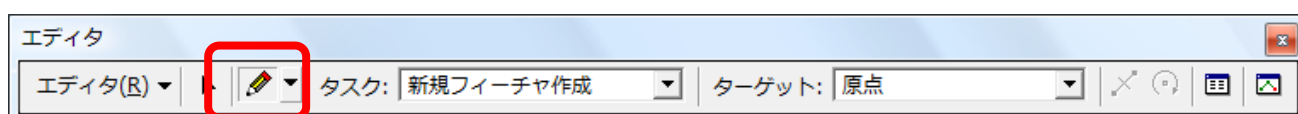
下図のように、「原点.shp」ファイルが作成されるので、これを ArcMap ヘドラッグアンドドロップする。



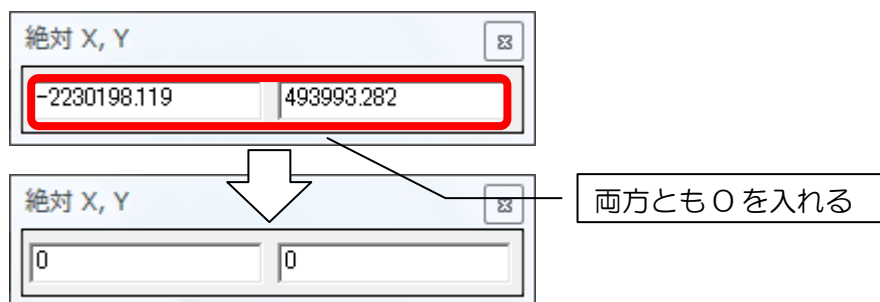
下図の「エディタ」をクリックし、「編集を開始」をクリックすると各ツールが有効になる。



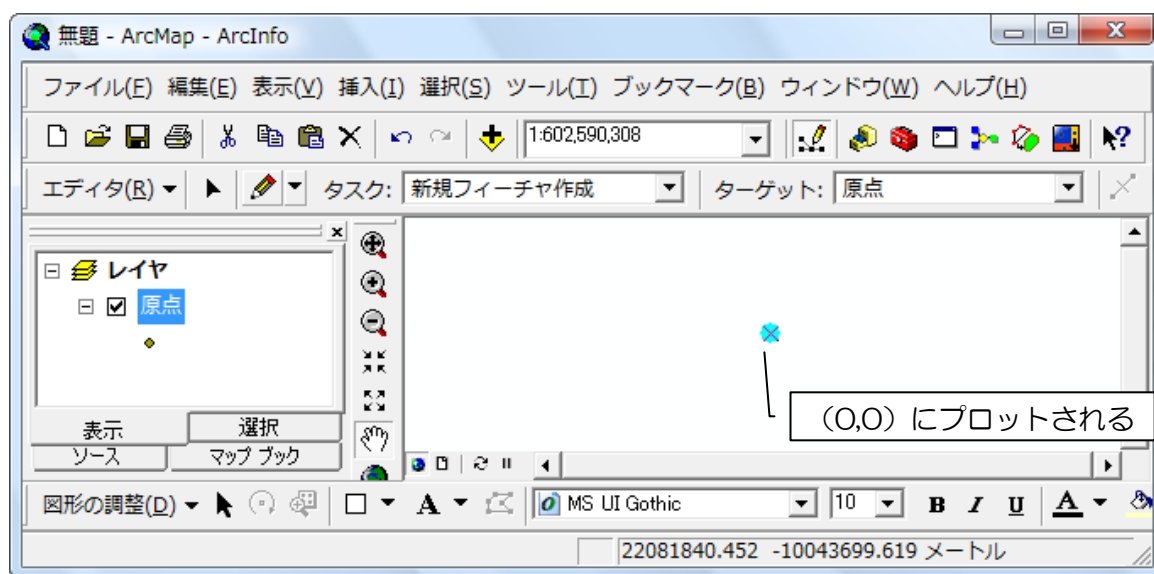
ををクリックし、「タスク」が「新規フィーチャ作成」、ターゲットが「原点」になっていることを確認する。



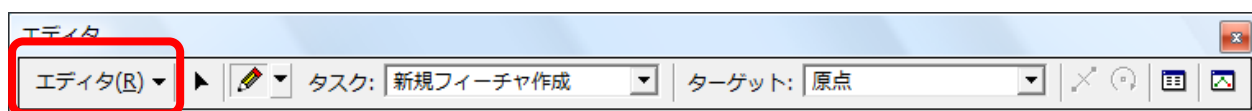
ArcMap 上の任意の場所で右クリックし、「絶対 X,Y(B) ...」をクリックすると下図が現れる。



X、Y の両方に”0”を入力し、Enter キーを押す。



下図の「エディタ」から、「編集の終了」をクリックする。



下図の「はい」をクリックして、原点の作図を完了する。

